


作成日 2017年 2月 13日
改定日 年 月 日

<p>1. 会社および 製品等情報</p> <p>会社名</p> <p>住所 担当部門 電話番号 緊急連絡先 作成者</p> <p>製品名 製品番号 主な用途</p>	<p>ラスト・オリウム コーポレイション RUST-OLEUM CORPORATION 11 Hawthorn Parkway Vernon Hills, IL 60061 テクニカル・サービス 担当者: Peter Fisher 847(367)7700 ラスト・オリウム ジャパン株式会社 電話番号: 045(641)9271 配島 義明</p> <p>Odor Killing Primer 305928 臭気遮蔽プライマー</p>
<p>2. 危険有害性の要約</p>	<p>【GHS 分類】</p> <p>引火性液体 : 区分外 急性毒性 経口 : 区分外 経皮 : 分類できない 吸入 (ガス) : 分類できない (蒸気) : 分類できない (粉塵、ミスト) : 分類できない</p> <p>皮膚腐食性 / 刺激性 : 分類できない 眼損傷性 / 刺激性 : 区分2A 呼吸器感作性 : 分類できない 皮膚感作性 : 分類できない 生殖細胞変異原性 : 分類できない 発がん性 : 分類できない 生殖毒性 : 分類できない 特定標的臓器 / 全身毒性 (単回ばく露) : 区分外 特定標的臓器 / 全身毒性 (反復ばく露) : 区分外 吸引性呼吸器有害性 : 分類できない 水生環境有害性 (急性) : 分類できない 水生環境有害性 (慢性) : 分類できない</p> <p>【GHS ラベル要素】</p> <p>「絵表示」 :  「注意喚起語」 : 警告 「危険有害性情報」 ・ 強い眼刺激</p> <p>「注意書き」 《予防策》 ・ 容器を密閉しておくこと。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・ ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。 ・ 適切な保護手袋、保護眼鏡、保護マスク、保護衣を着用すること。 ・ 取り扱い後は手洗い、うがいを励行すること。 <p>《応急措置》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 目に入った場合：水で注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。 ・ 皮膚に付着した場合：直ちに付着物を拭き取り、汚染された衣類等は脱ぐこと。皮膚を流水で洗うこと。 ・ 吸入した場合：気分が悪い時は医師の診察を受けること。 ・ 飲み込んだ場合：直ちに医師の診察を受けること。 <p>《保管》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 容器を密閉して直射日光を避け、換気のよい冷暗所に保管すること。 ・ 子供の手の届かない所に保管すること。 <p>《廃棄》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 内容物や容器を、その地区を管轄する役所の規則に従って処理すること。 									
3. 組成・成分情報	<p>単一化学物質・混合物の区別：混合物</p> <p>成分および含有量（危険有害性物質を対象）</p> <table border="1" data-bbox="459 952 1412 1070"> <thead> <tr> <th>成分名</th> <th>CAS#</th> <th>含有量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>タルク</td> <td>14807-96-6</td> <td>10 -25%</td> </tr> <tr> <td>2,4,7,9-テトラメチル-5-デシ-4,7-ジオール</td> <td>126-86-3</td> <td>0.1- 1.0%</td> </tr> </tbody> </table>	成分名	CAS#	含有量	タルク	14807-96-6	10 -25%	2,4,7,9-テトラメチル-5-デシ-4,7-ジオール	126-86-3	0.1- 1.0%
成分名	CAS#	含有量								
タルク	14807-96-6	10 -25%								
2,4,7,9-テトラメチル-5-デシ-4,7-ジオール	126-86-3	0.1- 1.0%								
4. 応急措置	<p>目に入った場合：*直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。 *出来るだけ速く医師の診断を受ける事。</p> <p>皮膚に付着した場合：*付着物を布で素早く拭き取る。 *大量の水及び石鹸又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。 *外観に変化が見られたり、痛みがある場合には、医師の診断を受けること。</p> <p>吸入した場合：*蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、暖かく安静にする。呼吸が不規則か、止まっている場合には人工呼吸を行う。嘔吐物は飲み込ませないようにする。直ちに医師の手当てを受ける。</p> <p>飲み込んだ場合：*誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。</p>									
5. 火災時の措置	<p>使用可能消火剤：水[]、炭酸ガス[O]、泡[O]、粉末[O]、乾燥砂[O] NFPAのクラスBの消火剤を使用</p> <p>消火方法：*適切な保護具（耐熱着衣等）を使用する。 *可燃性のものを周囲から速やかに取除くこと。 *水を消火に用いても効果が無い。</p>									
6. 漏出時の措置	<p>*作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用する。 *流失物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。</p>									

	<p>*付着物、廃棄物などは、関係法規にもとづいて処置をすること。 *大量の流出には盛土で囲って流出を防止する。</p>												
7. 取扱い及び 保管上の注意	<p>取り扱い上の注意 *換気のよい場所で取り扱う。 容器はその都度密栓する。 *皮膚に触れたり、目に入らぬよう適当な保護具を着用する。 *作業後は手、顔等をよく洗い、休憩所等に汚染した保護具を持ち込まない。</p> <p>保管上の注意 *日光の直射を避け、通風のよい所に保管する。 *子供の手の届かない所に保管する。</p>												
8. 暴露防止及び 保護措置	<p><u>暴露限界値</u></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>成分名</th> <th>ACGIH</th> <th>LD50 (mg/kg:ラット経口)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>タルク</td> <td>2 mg/m³</td> <td>>5,000</td> </tr> <tr> <td>2,4,7,9-テトラフル-5-デシ-4,7-ジオール</td> <td>情報なし</td> <td>情報なし</td> </tr> </tbody> </table> <p><u>設備対策</u> *排気装置を付けて、蒸気が滞留しないようにする。 *屋内作業の場合には、自動塗装機等を使用するなど、作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置などにより、作業者が蒸気などの暴露を避けられるような設備とすること。 *タンク内部などの密閉場所で作業をする場合には、密閉場所が、特に底部まで十分に換気できる装置を取り付けること。</p> <p><u>保護具</u> 呼吸系の保護：*有機ガス用防毒マスクを着用する。 *密閉された場所では、送気マスクを着用する。 *スプレー作業を行う場合、適切な保護マスクを着用する。 目の保護：*保護メガネを着用する。 皮膚の保護：*有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。 その他保護具：無し</p>	成分名	ACGIH	LD50 (mg/kg:ラット経口)	タルク	2 mg/m ³	>5,000	2,4,7,9-テトラフル-5-デシ-4,7-ジオール	情報なし	情報なし			
成分名	ACGIH	LD50 (mg/kg:ラット経口)											
タルク	2 mg/m ³	>5,000											
2,4,7,9-テトラフル-5-デシ-4,7-ジオール	情報なし	情報なし											
9. 物理及び 化学的性質	<p>状態：液体[○]、気体[] 色：白 臭気：僅かな溶剤臭 引火点：200℃以上 比重：1.09 PH：適用外 水に対する溶解性：可溶</p>												
10. 安定性及び 反応性 反応・安定性情報	<p>接触により危険性のある物質：酸化剤、強酸 燃焼などによる有害ガス発生：一酸化炭素、二酸化炭素 ※その他の反応・危険性情報は特に無し</p>												
11. 有害性情報	<p><u>成分の有害性情報（危険有害性物質を対象）</u> (1) タルク</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>急性毒性</td> <td></td> </tr> <tr> <td>経口</td> <td>: 区分外</td> </tr> <tr> <td>経皮</td> <td>: 分類できない</td> </tr> <tr> <td>吸入（蒸気）</td> <td>: 分類対象外</td> </tr> <tr> <td>皮膚腐食性 / 刺激性</td> <td>: 分類できない</td> </tr> <tr> <td>眼損傷性 / 刺激性</td> <td>: 分類できない</td> </tr> </tbody> </table>	急性毒性		経口	: 区分外	経皮	: 分類できない	吸入（蒸気）	: 分類対象外	皮膚腐食性 / 刺激性	: 分類できない	眼損傷性 / 刺激性	: 分類できない
急性毒性													
経口	: 区分外												
経皮	: 分類できない												
吸入（蒸気）	: 分類対象外												
皮膚腐食性 / 刺激性	: 分類できない												
眼損傷性 / 刺激性	: 分類できない												

	<p>呼吸器感作性 : 分類できない 皮膚感作性 : 分類できない 生殖細胞変異原性 : 分類できない 発がん性 : 分類できない 生殖毒性 : 分類できない 特定標的臓器 / 全身毒性 (単回ばく露) : 分類できない 特定標的臓器 / 全身毒性 (反復ばく露) : 分類できない 吸引性呼吸器有害性 : 分類できない</p> <p>(2) 2,4,7,9-テトラフル-5-デシ-4,7-ジオール</p> <p>急性毒性 経口 : 分類できない 経皮 : 分類できない 吸入 (蒸気) : 分類対象外 皮膚腐食性 / 刺激性 : 分類できない 眼損傷性 / 刺激性 : 区分2A 呼吸器感作性 : 分類できない 皮膚感作性 : 分類できない 生殖細胞変異原性 : 分類できない 発がん性 : 分類できない 生殖毒性 : 分類できない 特定標的臓器 / 全身毒性 (単回ばく露) : 分類できない 特定標的臓器 / 全身毒性 (反復ばく露) : 分類できない 吸引性呼吸器有害性 : 分類できない</p>
12. 環境影響情報	<ul style="list-style-type: none"> ・生態毒性 : 情報なし ・残留性 / 分解性 : 情報なし ・生態蓄積性 : 情報なし ・土壌中の移動性 : 情報なし ・成分の水生環境有害性 (環境有害物質を対象) <p>(1) タルク 水生環境有害性 (急性) : 分類できない 水生環境有害性 (慢性) : 分類できない</p> <p>(2) 2,4,7,9-テトラフル-5-デシ-4,7-ジオール 水生環境有害性 (急性) : 分類できない 水生環境有害性 (慢性) : 分類できない</p> <p>漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与えるおそれがあるので、取り扱いに注意する。</p>
13. 廃棄上の注意	<p>* 廃棄塗料、容器などの廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者へ委託契約し処理すること。</p> <p>* 容器、機械装置等を洗浄した排水などは、地面や排水口へそのまま流さないこと。</p> <p>* 廃水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規にしたがって処理を行うか、委託すること。</p>
14. 輸送上の注意	<p>共通 : 取扱及び保管上の注意の項の一般的注意に従う。</p> <p>陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法、毒劇法に該当する場合は、法令の輸送について定めるところに従う。</p> <p>海上輸送 : 船舶安全法に定めるところに従う。</p> <p>航空輸送 : 航空法に定めるところに従う。</p> <p>国連番号 : 非該当</p>
15. 適用法令	<p>労働安全衛生法 : 有機則 非該当</p> <p>消防法 : 非該当</p>

	船舶安全法：非該当 国連番号：非該当
16. その他の情報	日本塗料工業会編集「原材料物質データベース」 日本塗料工業会編集「エクセル版簡易GHS分類ソフト」 ラスト・オリウム社 MSDS

*この製品安全データシートは各種の文献等に基づき作成していますが、必ずしも全ての情報を網羅しているものではありません。 従いまして、取扱いには注意して下さい。

また、含有量、物理および化学的性質、危険有害性等の記載内容は、いかなる保証をするものではありません。